

## 小規模館における IFLA バウチャーの活用について【報告】

武 田 佳 代 （信州大学教育学部図書館）

濱 田 祐 次 （信州大学農学部図書館）

### 1. はじめに

信州大学附属図書館教育学部図書館（以下、当館）では、国内機関での所蔵が確認できない資料に対して利用者から複写依頼があった場合、The British Library Document Supply Centre（以下、BLDSC）の文献複写サービスを利用して提供を行ってきた。従来、BLDSCへの依頼件数は数年に1件程度と非常に少なく、BLDSCで提供されていなければ申込者がキャンセルすることがほとんどであったが、近年は英語以外の言語資料の複写依頼が増え、BLDSCへの依頼だけでは対応できない事例が増えてきた。このため、利用者へのサービス拡充を目的として、より広く国外機関に複写依頼をする手段としてIFLAバウチャーの利用を検討した。本稿では、導入までの検討内容と支払いにIFLAバウチャーを利用した複写依頼の実例を報告する。

### 2. IFLAバウチャーについて

IFLAバウチャーは、IFLA（国際図書館連盟）が販売する国際ILLの料金決済のために用いられる金券である。国際ILLに関わる料金の支払い業務を簡素化するために1997年1月から始められた。参加図書館はIFLAのWebサイトで公開されており、2015年1月現在71カ国1,000館を超している。IFLAバウチャーにはフルバウチャー（8ユーロ）とハーフバウチャー（4ユーロ）の2種類があり、IFLAから購入ができるほか、日本国内では日本図書館協会でも購入できる。日本図書館協会では1枚から購入が可能で、1枚あたりフルバウチャーは2,000円、ハーフバウチャーは1,000円で販売している（いずれも送料・手数料を含む）。有効期限はない。バウチャーによる料金設定は個々の図書館の裁量に委ねられているが、IFLAでは、複写は送料を含めて15頁まで1バウチャーを推奨している。受付館では、受け取ったIFLAバウチャーを自館が依頼をした際の支払いに利用することができる。受付をすることの多い館は、換金することも可能である。



IFLA バウチャー（プラスチック製）

### 3. IFLAバウチャー利用の検討

国際ILLの依頼にあたり、一番の課題となるのは料金決済である。当館は、常勤職員4名でILL担当者は兼任の1名であり、手間のかかる作業を増やすことは難しい。このため、

- ・依頼にかかる手間が少ないこと
- ・依頼にかかる経費がほかの方法に比べて安価であること

をポイントにBLDSCへの依頼以外の方法について比較検討を行った。

	IFLA バウチャーによる支払い	外国送金による支払い	グローバル ILL に参加
作業手順	①メールにより受付可否／経費を照会 ②正式依頼 ③複写物受領 ④ IFLA バウチャー送付	①メールにより受付可否／経費を照会 ②正式依頼 ③複写物受領 ④外国送金手続き	① NACSIS-ILL により依頼 ②複写物受領 ③第三者機関（紀伊國屋書店）が月ごとに発行する請求書により支払い
必要経費	・ 複写料金 概ね 2,000 円（15 頁まで） ・ IFLA バウチャー郵送料（国際書留）600-700 円	・ 受付館毎に定める複写料金 ・ 外国送金手数料 概ね 5,000 円程度	・ プロファイル登録料（概算）47,000 円 ・ 受付館毎に定める複写料金（確認時のレート）＋請求書発行手数料 1,500 円／件

グローバルILLへの参加は、国内機関への依頼と同様にNACSIS-ILLシステムにより依頼ができるため、作業手順としては最も簡易である。ただし、利用するためには初期経費として登録料が必要である。当館では依頼件数は年に数件程度と予想されるため、参加は見送った。

IFLAバウチャーによる支払いと外国送金による支払いでは、作業手順としては大きな違いはない。いずれも所蔵館に対して個別に受付の可否を照会する必要がある。必要経費は、複写枚数の平均により試算すると、IFLAバウチャーを利用した場合の方が安価になるケースが多いと予想されたため、経理調達担当者とIFLAバウチャーの利用についての打合せを行った。

経理調達担当者から指摘を受けた事項を次にあげる。

- ・IFLAバウチャーを利用することは問題ない。
- ・必要な資料を調達する複数の方法があるならば、最も安価な方法を採用すること。

依頼する都度、IFLAバウチャーによる支払い／外国送金による支払い、それぞれの場合の総経費を試算し、安い方法を選択する。

- ・複写依頼時の支払いにのみ使用し、受付には使用しない（信州大学では信州大学附属図書館文献複写規定ほか内規に定めがないため）。
- ・必要枚数をその都度調達すること（受払簿での管理は行わない）。
- ・IFLAバウチャーは記録が残る書留で送付すること。

これにより、以下の手順を踏まえてIFLAバウチャーによる支払いを実施することとした。

- ・複数の入手手段および支払い方法がある場合は、それぞれの必要経費を試算し、最も安価な方法を採用する。試算額は記録に残しておく。
- ・IFLAバウチャーは必要都度調達することとし、調達は一般物品として経理調達担当者が行う。
- ・IFLAバウチャーの発送にあたっては、それを発送したことがわかるよう記録を残しておく。

#### 4. IFLAバウチャーによる支払いの事例

教員からイタリア語論文の複写依頼があり、BLDSCでは提供されない資料に掲載された論文であったため掲載誌の所蔵館をWorldCatで確認したところ、イタリアの私立大学で所蔵していることがわかった。また、IFLA公式サイトでの”IFLA Voucher Scheme Participating Libraries”より、該当館がIFLAバウチャー受付可能であることを確認した。

手順1 メールで受付可否を確認

受付可否照会メール

Subject: Document Copy Request (Shinshu University Library, Japan)

Dear (相手館)  
Interlibrary Loan,

Hello.

I'm (担当者名), librarian at Shinshu University Library (Library of Faculty of Education) in Japan.

I'm sorry that I can't write in Italian, so please forgive to send e-mail in English.

Our University's professor is looking for the document in following book.  
But we can't find this book in Japan and participants in Global ILL Framework.

And your library holds it (confirmed from Worldcat), so I would like to ask following questions.

1. Could you copy this document and send to our library?
2. If you can send this, please guide your policy of the payment method.

We will follow your library's policy. (We can use IFLA Voucher.)

Please see the details of article below.

--

(依頼資料名)

Source: Your library's online catalogue

--

The following are the details of our library's address.

--

Shinshu University Library  
 (Library of Faculty of Education)  
 Nishinagano Nagano 380-8544  
 Japan

--

I'll be waiting for your e-mail.

Thank you for your help and cooperation.

Regards,  
 (担当者名)

#### 先方からの回答メール

Dear colleague,  
 copy of the document and emailing is possible. The reimbursement required is 1 IFLA voucher.  
 I am sending you the link to the page with information about the service:

[http://biblioteche\\*\\*\\*](http://biblioteche***)

Kind regards.  
 (担当者名)

#### 手順2 経費の試算

受付館のWebサイトにILL受付時の複写経費が掲載されていたため、IFLAバウチャー／外国送金それぞれの支払い方法による場合の必要総経費を試算した。

IFLAバウチャーによる支払い：複写料1フルバウチャー2,000円＋国際書留送料650円

外国送金による支払い：複写料8ユーロ（約1,130円）＋外国送金手数料約5,000円

IFLAバウチャーによる支払いの方が安くなることから、IFLAバウチャーを利用することとした。

#### 支払い方法等の確認メール

Dear (担当者名),

Thank you for replying e-mail, and sending me the link to the page with information about Interlibrary services.

So we would like to place our order, and ask following questions about your services.

1. Can we use this form to request our order?

[http://biblioteche.\\*\\*\\*](http://biblioteche.***)

2. Should we send 1 IFLA voucher before you send photocopies of our order?

Please let us know about timing of payment.

Thank you very much indeed for your help.

Best Regards,  
(担当者名)

### 手順3 文献複写物の受領

PDFデータで送られてきたため、プリントアウトし申込者に引き渡した。

依頼文献のPDFファイル送付および質問に対する回答メール

Dear (担当者),

attached to this email the file with the article in pdf format. The reimbursement required is 1 IFLA voucher.

I answer his questions:

1, the application form is correct. You can use it in the future for other requests for Document Delivery.

2 Our library does not require payment in advance for this service, then you can pay after receiving the requested document.

Kind regards  
(担当者)

### 手順4 IFLAバウチャーの調達と発送

フルバウチャー1枚を日本図書館協会に発注したところ、休日を含めて4日後に納品された。今回は公費での依頼であったため、一般物品として検収を受けた後、国際書留により発送した。なお、日本図書館協会にIFLAバウチャーの在庫がないこともあるようなので、事前に確認をしておくとうい。

PDFファイル受領およびIFLAバウチャー発送の連絡メール

Dear (担当者),

Thank you for sending documents in PDF file.  
I'll delete this file immediately after printing.

As requested I send 1 IFLA-Voucher for the payment with airmail.  
We appreciate your help and cooperation in this matter.

Regards,  
(担当者)

## 5. 今後に向けて

今回、一通りの手続きを経て、IFLAバウチャーを利用することにより支払い手続きが簡略されるメリットを感じた。外国送金のための書類作成に比べて、IFLAバウチャーの調達および発送のほうが手間が少ない。外国語での照会に抵抗がある担当者がいるかもしれないが、定型文を作成することで簡略化を図ることができる。今回は初めての事例であり、IFLAバウチャー調達にあたって経理調達当者と打合せをしながら進めたため、依頼から申込者への引き渡しまで1ヶ月ほど要したが、受付館とのやりとりはメールで行うため、今後はより迅速な入手が可能になると思われる。必要経費が比較的安価に抑えられる可能性があるメリットもある。担当者が少ない小規模館においても大きな負担を増やすことなく対応が可能であったので、今後も積極的に活用して利用者サービス拡充に努めたい。

---

### 参考文献

IFLA公式Webサイト：IFLA Voucher Scheme <<http://www.ifla.org/voucher-scheme>> (参照2015-01-14)

日本図書館協会:IFLAバウチャー&JLAグッズのご案内  
<<http://www.jla.or.jp/publications/goods/tabid/230/Default.aspx>> (参照2015-01-14)

国立大学図書館協議会図書館情報システム特別委員会ILLシステム専門委員会：最終報告資料 5 IFLAクーポン (Voucher) について <[http://www.janul.jp/j/publications/reports/62/appendix\\_4\\_5.html](http://www.janul.jp/j/publications/reports/62/appendix_4_5.html)> (参照2015-01-14)